

# R4年度 筑前地区中学校バレーボール大会新型コロナウイルス感染症対策(案)

筑前地区中体連バレーボール専門部長

## 1 参加に当たっての遵守事項及び事前の準備物について

- (1) 各チームの顧問は、必ず各学校が定める校外指導計画書等を自校校長に事前に提出し、参加の許可を受ける。
- (2) 本大会に参加する選手及びマネージャー(中学生)は、事前に各区で提出した「参加同意書」を本大会の参加同意書として取り扱う。
- (3) 本大会に参加するベンチスタッフ及び選手は、監督1名、コーチ1名、エントリー選手(12名)とマネージャー(中学生1名)とする。感染症対策により、ギャラリーでの観戦は1チーム18名まで(ギャラリー観戦者はエントリー選手以外の生徒、保護者が考えられる。)とする。ベンチスタッフおよび選手以外は練習も含めフロアへの出入りをしないこと。観戦者は名札で管理をする。  
管理職や3名以上の指導者(顧問、部活動指導員、及び中体連に登録された外部コーチ)がいるチームについては、その観戦を認めるが、練習も含めフロアへの出入りは一切できない。管理職やベンチ外指導者や未就学児はギャラリー観戦の18名にはカウントしない。
- (4) 発熱等で登録メンバーの生徒が当日欠席し、その補充を他の部員からすることになった場合、1日目の受付時のエントリー選手の変更は認めるが、その12名の選手及びマネージャーをもって2日間の大会エントリー選手とする(2日目の変更はできない)。
- (5) 参加する生徒は、当日の朝、以下の症状がある場合は参加を控えること。「体調記録表」に記入を済ませ、確実に各顧問が検温や体調等の健康観察の確認を行い、異常が認められない生徒のみを参加させること。また、顧問や外部指導者、及び大会役員(派遣審判も含む)は試合前2週間分の「体調記録表」を記入し、試合当日は両日ともに「体調確認表(大会当日提出用)」を提出すること。また各チームのギャラリーで観戦する者についても、2週間分の「体調記録表」をもとに応援者等大会当日体調記録表の提出をすること。

- ① 体調がよくない場合。(例:発熱・席・咽頭痛などの症状がある場合)
- ② 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合。
- ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、及び地域への渡航歴、又は在住歴がある者との濃厚接触がある場合。

※各チームで消毒用のアルコールスプレーや除菌シート等の消毒剤を必ず持参し、こまめな消毒ができるように準備しておくこと。自チームの用具の消毒は、各チームで行えるよう消毒剤の準備しておくこと。

※会場や試合に関わる消毒剤については、専門部で準備する。

※試合途中に、参加生徒が怪我をしたり体調不良になったりした場合は、早退をさせることも考えられるので、保護者への緊急連絡表等を準備し、速やかに保護者に連絡がとれるようにしておくこと。

※審判が使用するホイッスルは、電子ホイッスルを推奨する。通常のホイッスルを使用する場合は、マスクを上から着用するか、ホイッスルカバーを使用するなど飛沫防止策をとること。

※フロアを拭く汗拭きタオルと消毒用に使うタオル(ぞうきん)は、必ず別のものを多めに準備すること。

各チームの準備物		事前✓	当日✓
①	大会申込書(校長の職員の押印済みのもの)		
②	参加同意書(各区大会で提出した同意書を本大会の同意書に兼ねる)		
③	試合前2週間分の体調記録表(生徒・指導者用)(学校保管用)(顧問保管)		
④	体調確認表(大会当日提出用)1部 ※学校保管用登録選手全員分を転記する。		
⑤	消毒用アルコールスプレー等の消毒剤(手指用・器具用)		

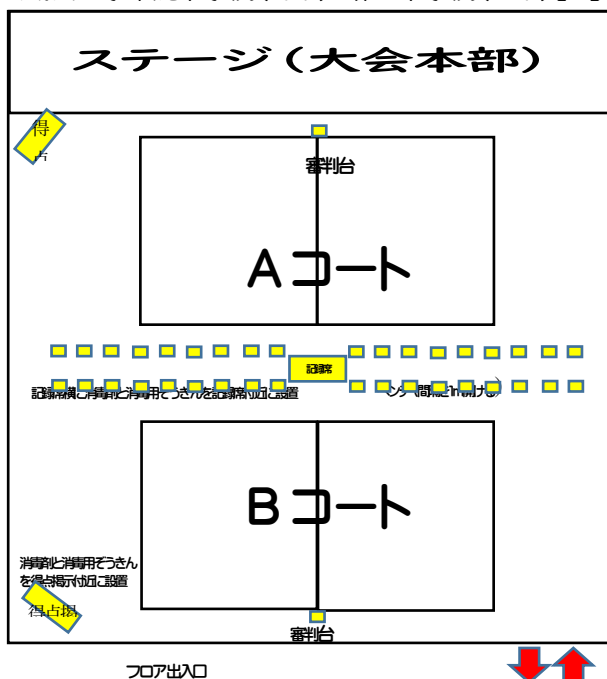
⑥	消毒用ぞうきん(タオル等の布)(5~6枚程度)		
⑦	手洗い用ポンプ式石けん1~2台		
⑧	床拭きタオル(3~4枚程度)		
⑨	参加選手保護者緊急連絡先一覧表		
⑩	シューズバッグ(玄関には一切靴は置けないので生徒・指導者は必ず持参すること)		
⑪	個人用衛生バッグ(タオルやマスクを自己管理する袋又はバッグ)(飛沫接触を避けるため)		
⑫	マスク(予備も含めて各自2枚以上準備すること)		

※各自や各学校が準備する試合用の道具は、この一覧表の中に含まれていないので、各学校で必要な道具を準備する。

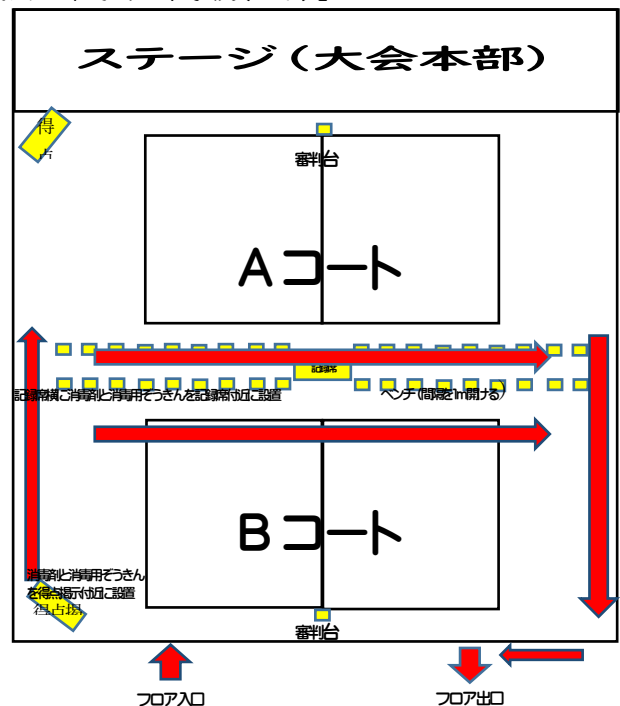
感染症対策に伴う専門部の準備物(各会場に必要な個数)							
	物 品	事前✓	当日✓		物 品	事前✓	事前✓
①	アルコールスプレー(手指消毒用)3台			②	消毒用ぞうきん 20枚程度		
③	手洗い用ポンプ式石けん (手洗い場2,トイレ2)			④	ペーパータオル 10箱		
⑤	ゴミ箱 大型のポリバケツ 2個 (使用済みペーパータオル入れ) (ゴミ袋を内側に設置)			⑥	手洗い場・トイレ、控室の指定及び掲示 トイレと手洗い場の個数分 (ふたを閉めて流す・手洗いは30秒以上)		
⑦	救護用フェイスシールド 3枚			⑧	救護及び清掃用ビニール手袋1箱		
⑨	非接触型体温計1台			⑩	「体育館下足入れ使用禁止」 「下靴はシューズ入れへ」の掲示 (必要枚数分)		
⑪	感染症対策に関する掲示物 3枚 (体育館出入口・控室出入口・フロア出入口に拡げて設置)			⑫	トイレ消毒スケジュール表 1枚		

2 会場図及び入退場について 大野城総合体育館は入り口2か所である。

【会場図： 学業院中学校(男子)・春日中学校(女子)】 【会場図： 那珂川北中学校(女子)】



※出入口での「密」を避けるために、以下の対策を取る。



【会場図： 学業院中学校(男子)・春日中学校(女子)】

- ①フロアの出入り口が1カ所しかないので、試合が終わったチームが大会役員又は審判員の指示に従って、退場し、すぐに手洗いをを行う。
- ②前試合のチームが完全に退場するまで次の試合のチームは入場できないので、控え室で待機しておく。
- ③出入り口付近の混み具合が解消された時点で、次の試合を担当する審判員が次の試合のチームを控え室に呼びに行き指示に従って入場する。
- ④入場後ストレッチ等を行い、両チームの準備が整いし5分間の合同練習の開始の合図を審判員が出す。その後、練習を始める。入場してすぐに練習を始めない(前の試合で記録を担当した選手への配慮)。

【会場図： 大野城総合体育館(男子)・那珂川北中学校(女子)】

- ①フロアの出入り口が2カ所あるので、入口と出口を分ける。
- ②入場するチームは入口付近で大会役員の指示に従って密にならないよう間隔をとって待機する。
- ③試合が終わったチームは、ステージに向かって右側のコートのフリーゾーンの壁に沿って退場する。退場後速やかに手洗いをを行う。
- ④退場する両チームが完全に退場したのを確認し、大会役員又は審判員の指示に従って次の試合のチームがフロアに入場する。
- ⑤入場後ストレッチ等を行い、両チームの準備が整いし5分間の合同練習の開始の合図を審判員が出す。その後、練習を始める。入場してすぐに練習を始めない(前の試合で記録を担当した選手への配慮)。

### 3 感染症対策について

#### (1) 朝の各学校集合時について

参加チーム(生徒補助役員も含む)の顧問は、自校で選手が集合する際に、以下の手続を取る。

- ①体調記録表(「学校保管用」事前の2週間分のもの)を生徒から回収。
  - ②体調記録表(大会当日提出用)に転記。体調に異常が認められる生徒は帰宅させる。
- ※試合会場集合にはせず、自校で集合して体調のチェックを必ず顧問が責任をもって行うこと。

#### (2) 受付時について(1試合目のチーム 7:50~ 2試合目のチーム 8:10~)

- ①体育館入り口に受付を設置し、参加校の顧問は体調記録表(生徒大会当日用)と大会申込書を提出する。
- ②外靴は下足入れに入れずに、各自のシューズバッグに入れて控え室で保管する。
- ③選手は係の指示に従ってマナーチェックを受ける。
- ④顧問(指導者)は控え室での選手の行動をコントロールし、「密」を避けながら飛沫拡散防止・手洗い・入退場等の指導を大会役員と共に行う。ステージ上は基本的に大会役員の待機場所とする(ステージ上の密を避けるため)し、指導者の待機所は別に設置する。

#### (3) 練習中の対策について

- ①選手とボールを打って指導する指導者に限って、マスクを着用しなくてよい。ボールを打たない指導者はマスクを着用すること。
- ②練習中は衛生バッグをコートに持参し、マスクやタオルの収納ができるよう各自準備しておくこと。
- ③練習が終わり次第、衛生バッグからマスクを取り出し着用すること。
- ④衛生バッグの取り扱いについては、他の選手のマスクやタオルに直接接触れることがなければ、衛生バッグ自体を他の選手が運ぶことは可能。衛生バッグを使用する際の選手への配付の仕方は各チームで工夫すること。

#### (4) フロア等への入退場の対策について

練習や試合の入退場の際は、大会役員又は放送の指示に従って、密にならないように行う。入退場の際、各チームの指導者は必ず選手に同伴し、密を避ける対策や手洗い、消毒等の感染症対策を大会役員又は審判員とともに指示し、選手の行動を管理すること。選手は必ずその指示に従うこと。

#### (5) 試合中の対策について

①試合前などの円陣をしてのかけ声等は禁止する。

②ベンチでの集合時などできるだけ密集・接触をさける。

③競技中のハイタッチはせず、腕(肘)のタッチにとどめる。

④ネット際等で、相手に顔や体を向けた状態での発声は控える。

⑤タオル・水筒・アイシングバッグ等の共用は禁止する。特にタオルやマスクをチームでまとめて集める際は、各自専用のタオルやマスク等の私物を入れる衛生バッグを準備、保管し、飛沫拡散防止対策をとる。

④給水については、練習中や練習後、※給水タイムアウト時、試合中のタイムアウト時、セット間、試合間等で、こまめに行い、体調管理に努めること。

※給水タイムアウトについては別紙参照

⑤水分補給用の飲料については、選手・指導者ともに各自で準備を行い、チームでの共有は厳禁とする。クーラーボックスのコートへの持ち込みも厳禁とする。

⑥試合開始前、試合終了後のあいさつ、及びサーブ権を決める際のキャプテン同士のコイントスの際は、握手はせず、一礼をすることで代用する。

⑦会場のカーテンについては、直射日光が入ってくる側のカーテンのみを閉めて、反対側は必ず開けて、換気ができるようにする。なお、カーテンの開け閉めについては、専門部(会場責任者)からの指示で行うものとする。勝手に開け閉めをしない。

⑧競技中(練習も含む)、靴底を手でさわらない。

#### (6) ベンチでの対策について

①ベンチにいる生徒・指導者は試合中必ずマスクを着用する。選手交代をする可能性があるため、コート上の6人も含め、全員マスク及びタオル入れる衛生バッグを準備し、いつでも取り出せるように準備しておく。

②マネージャーとコート外の6人は、基本的にベンチに座る。ベンチの間隔をとってイスを配置する。

③ウォームアップゾーン付近が密にならないように、交代前の必要な選手が必要な時間帯のみ使用する。その際、交替のための準備としてマスクを外す場合は各自の衛生バッグに入れ、ウォームアップエリア内での私語はしないようにすること。交替する際に他の選手等に自分のマスクを預けることは絶対に避けること。指導者はこの手続を踏んで選手交代することを念頭に突然の交替は避け、交替する選手に十分な時間を確保し、選手交代に臨むようにすること。コートから出る選手は素早く衛生バッグからマスクを取り出し装着させベンチに座ること。

④飛沫の飛散を防ぐために、ベンチからの応援は、拍手のみとする。声は出さない。ハイタッチなど身体接触もしないようにする。

⑤タイムアウト時やセット間、試合間のベンチ前でのミーティングは、密にならないように間隔をとる。

#### (7) 試合中及びセット終了後、試合終了後の消毒上の対策について

①各試合終了後は、必ず以下のものをアルコールスプレー又は除菌シート等で器具・トイレ・ドアノブ等の消毒を行う。

㊦審判台の手の触れる部分

㊧ラインジャッジフラッグの手の触れる部分

㊨得点版及びイスの手の触れる部分 ㊩トイレ(ドアノブ・便座・洗浄レバー等)

②各セット終了後、及び第3セットの13点目でのチェンジコートの際、及び試合終了後には、必ず自チームが使用したベンチにあるイスを消毒してから移動すること。消毒作業終了後からセット間の3分間の計測を始める。

③試合球は各コート指定した2球を試合球として専門部が準備する。そのボール以外は使わないようにする。セット間ならびに給水タイムアウト時にボールを交換し、消毒を行う。

そのために、副審の後方にボールの消毒係を1名配置し、消毒剤と消毒専用のタオル(ぞうきん)を準備する。

(8) 敗戦チーム又は大会終了後の対策について

①敗戦後の生徒役員の仕事が終わった後、又は決勝・準決勝が終わった後は、できるだけ速やかに(20分以内をめぐりに)会場を出発すること。

②自チームのボールやボールかご等の片付けや消毒も終了したら、控え室に戻り、着替え、忘れ物がでないように退室する。キャプテンは最後に控え室を出るようにし、使用場所の最終点検を済ませて退出する。また、控え室から出たら、必ず手洗いと洗顔を行う。

③手洗いと洗顔が終了した生徒から、順次体育館の外に出て、終礼のための待機を行う。使用場所(フロア・ステージ・控え室・トイレ・手洗い場等)や試合で使用した用具等の消毒を行う。

④各チームの顧問の指示に従って、体育館の外で密にならないように終礼し、解散する。